

「行政相談」出前授業（地域をより良くする仕組みを学ぶ！）

令和7年11月12日（水）、本校の3年生を対象に、総務省中国四国管区行政評価局と行政相談委員の方々を講師にお招きし、「行政相談」出前教室を開催しました。

この授業を通じて、生徒たちは行政が私たちの生活といかに深く関わっているか、地域住民の声が社会を動かす仕組みについて学びました。



1. 行政は私たちの生活の「基盤」

授業は、総務省の職員の方によるスライドを用いた説明から始まりました。

生徒たちは、朝起きてから夜寝るまでの日常の中に、水道、学校教育、道路、ごみ収集、救急搬送など、いかに多くの行政サービスが溶け込んでいるかを学びました。生活の基盤が、税金や行政の活動によって支えられていることを学びました。



2. 地域住民の声を活かす「行政相談」の仕組み

地域住民の代表として活動されている行政相談委員の先生から、行政相談の具体的な役割と事例紹介がありました。

以前、本校の生徒から「JR安浦駅の横断歩道の信号機の青信号の時間を長くしてほしい」という相談がありました。警察への働きかけにより青信号の時間が5秒間延長され、横断歩道を渡りやすくなったという具体的な事例を教えてくださいました。生徒たちは、自分たちの生活に直結する仕組みとして真剣な表情で聞き入りました。



なかったら、

行政相談を活用したい

3. 主権者として地域に関わる第一歩

今回の出前教室は、生徒たちが、社会の仕組みを知り、主権者としての意識を高め、自分たちの地域や社会をより良くしていくためにはどうすれば良いかを考える、非常に有意義な学びの機会となりました。安浦中学校は、これからも生徒たちが社会の一員としての自覚を持ち、主体的に地域課題の解決に参画できるような教育活動を推進してまいります。



（行政相談マスコット キクーン）